

北海道技術士センター

臨時総会報告

日 時：平成 18 年 11 月 28 日(火)15：00～15：45

場 所：ホテルポールスター札幌（2F セレナード）

札幌市中央区北 4 条西 6 丁目 TEL 011-241-9111

次 第：

- 1) 開 会
- 2) 会長挨拶
- 3) 議長選出
- 4) 議 題

第 1 号議案：北海道技術士センターと日本技術士会北海道支部の組織統合について

配付資料：「平成 18 年度 北海道技術士センター 臨時総会資料」（平成 18 年 11 月 28 日）

〔内容：1. センターと支部の統合に関わる背景と目的、2. 協賛会員（センター会員）に関する基本的事項、3. 北海道支部組織図について……これらについては、北海道支部臨時総会資料と共通のため、支部の資料を参照のこと〕



伊藤会長の挨拶

概 要：

1. はじめに

伊藤会長より本臨時総会が北海道技術士センターの将来を見据えた大事な会議であるという主旨を込めた挨拶がありました。続いて、定款第 12 条第 4 項に従い、会場出席者の中から議長として田川技術士（建設部門）が選出され、総会の成立に必要な会員数の確認（定款第 14 条第 1 項）が行われました。

- ・ 総会の成立に必要な会員数：会員総数 2,366 名の 1/3 以上 789 名
- ・ 総会出席者 119 名＋委任状 847 名＝966 名

総会の成立が確認され、議題の審議に入る前に「支部・センター組織統合検討委員会」の斉藤委員長よりこれまでの検討経過について説明がありました。

2. 支部・センター組織統合検討委員会からの報告

臨時総会資料を基に、斉藤委員長より組織統合の背景や委員会で行ってきたこれまでの検討経緯について説明がありました。

【配付資料目次】

1. センターと支部の統合に関わる背景と目的
2. 協賛会員（センター会員）に関する基本的事項
3. 北海道支部組織図について

3. 意見交換

斉藤委員長の説明の後、センターと支部の組織統合に



説明を聞く会場出席者

関して意見が交わされました。会場では数名の参加者から質問や意見が寄せられました。

【主な質問・意見等】

Q 1：組織図の中で「有資格者増強委員会」が解散となりますが、地方技術士会の下で活動してきた有資格者増強委員会の今後はどうなるのですか？ 予算的な援助はどうなるのですか？

A 1：試験監督業務を受けている社団法人としての北海道支部が受験の講習をすることはできないので解散します。地方での有資格者状況のために今後も受験支援を行う場合は、技術士会の称号を付けずに個人的な支援ネットワークとして下さい。従って、統合後に配分される予算からは有資格者増強に対する活動費として使用することはできません。

Q 2：協賛会員についての基本的事項の結論は、本部の意向が決定してからになるのでしょうか？

A 2：北海道支部が協賛会員を設けることは既に本部の了解済みであり、本日の臨時総会を経て支部の内規で確定することになります。統合時期は、2007 年（平成 19 年）4 月 1 日を予定しています。

Q 3：北海道支部の研究会は、技術士会の全国レベルでの横断的活動をしているのですか？

A 3：組織図での実行委員会は本部組織と連携しています。防災研究会は、もともと北海道からスタートしたものであり、それが全国に展開したものです。

4. 支部・センターの組織統合への賛否について

質問や意見等が出揃った後、第 1 号議案（支部とセンターの組織統合）について採決を行った結果、賛成が圧倒的多数を占め、承認・可決されました。

5. おわりに

支部とセンターの組織統合が承認・可決されたことを受け、伊藤会長が北海道技術士センターとしては最後となった総会を締めくくる挨拶を行いました。

挨拶の中で、平成 18 年度のセンター決算報告は、来年（2007 年）4 月に開催予定である第 42 回北海道支部定期総会の中で行うとの報告がありました。

支部・センターの組織統合にあたって、伊藤会長は「支部とセンターの組織統合は、言わば新たにスタートを切るための結婚みたいなものです。支部は花婿であり、センターは花嫁であります。花嫁が嫁入りする意志を決めないと受け止める側の花婿さんが困ることになるので、今回の臨時総会開催となりました。」と、例え話を添え、今後の北海道支部の発展を期待して最後の挨拶を終えました。



会場風景（斉藤委員長の説明）